



平成18年度白い森おぐにフォトコンテスト最優秀賞
「北股岳」高橋祐輔さん（新潟県）

● 広報

おぐに



2008

1

NO.639



おぐに鍋まつりが、11月24日、ふれあいの家を会場に開催されました。当日は、県内外から約700人が訪れ、地場食材を使った創作鍋を食べ比べました。5回目となる今回は、町内の団体をはじめ、白鷹、川西、高島、米沢から計12団体が参加したほか、審査対象外の2団体含めて、14種類の鍋が出品されました。来場者の投票と、町内飲食店などから選ばれた7人による審査の結果、鍋将軍には、「ザ☆穀鍋2007」（おぐに五穀の会）が選ばれました。

11/24

第十四種類の創作鍋に舌鼓
第五回 おぐに鍋まつり

白い森発



12/8

登頂の苦労と喜びを報告
ヤラシャンボ初登頂報告会

県山岳連盟中国チベット登山隊の一員として、ヤラシャンボの初登頂に成功した吉田岳さん（大石沢）が、12月8日、総合センターで報告会を行いました。これは、吉田さんの功績を広く知ってもらうために、小国山岳会が主催したものです。

吉田さんは、ルート工作での苦労や、登頂した時の喜びなどについて報告したほか、自然や動物の写真なども紹介しました。また会場では、登頂する際に実際に使用した装備なども披露されました。



11/22

学んだ知識と成果を発表
小国高校町民報告会

小国高校がこれまで取り組んできている、さまざまな学習の成果を発表する町民報告会が、11月22日、総合センターで開催されました。

町民や学校関係者など約100人が集まった報告会では、生徒22人が学年やテーマ別に学習の成果を報告しました。1年生は地域文化学、2年生は山形大学工学部との共同研究、3年生は留学や資格取得の活動について、パソコンを使って解説したり、盆唄などが披露されました。



12/15

新しい命への願いを込めて 子宝酒の仕込み作業

大宮子易両神社のオリジナルお神酒「子宝酒」の仕込み作業が、12月15日、野澤酒造店で行われました。

この日は、町内の宿泊施設や飲食店関係者など15団体から約30人が参加し、神事に続いて仕込み作業に移りました。参加者は17個の樽に地元産の米やこうじ、清水を入れ、人肌になるまで丁寧に混ぜ合わせた後、布団にくるんで保管しました。

子孫繁栄などの願いが込められた子宝酒は、約10日ほどで完成する予定で、年末年始にむけて、毎年この時期に仕込みが行われています。



12/22

横川ダム建設に伴う集落移転から15年 移転15周年記念・古里の碑を建立

12月22日、横川ダム建設に伴い水没することとなった下叶水と市野々集落のかたが中心となって、移転15周年記念式典が開催されました。これは、平成4年の離村式から15年を迎えたことから、この節目に古里をしのぼうと企画されたものです。

式典に先立ち、関係者を含む約50人は、下叶水と市野々跡をのぞむ場所に建立されたそれぞれの古里の碑や、ダム管理棟などをバスで見学しました。参加者は、記念碑に刻まれたかつての集落の様子を見つめながら、ダムを背に記念撮影などをしていました。



—この人に聞く—

第五代 おぐに鍋将軍



おぐに五穀の会・
雑穀アドバイザー
新野伸子氏

この度、私たちおぐに五穀の会の「ザ☆穀鍋2007」は、五代目の鍋将軍になりました。これまで四回出品していましたが、前回と前々回は鍋の局でした。今年こそは優勝をと、約一カ月間、試行錯誤を繰り返し、ようやく結果を出すことができました。この鍋は、雑穀のモチアワでとろみを出したカレー風味のスープに、タカキビ粉の団子をトッピングしたものです。町内の材料をたっぷり使い、おいしく、健康にも良い鍋となりました。

おぐに五穀の会では、雑穀を使った町おこしに取り組んでいます。生産・加工・調理など、それぞれの分野から人が集まり、雑穀をPRしています。私も、日本雑穀協会の雑穀アドバイザーとして、これからも一層普及に努めるつもりです。

ザ☆穀鍋2007は、つたや旅館と日常茶飯美（どちらも要予約）で食べることができますので、ぜひご賞味ください。

湖底のふるさとに思いをはせて

～ 横川ダム建設による集落移転から15年 ～



昭和35年に津川村が小国町と合併し、市野々にあった旧津川村役場は東部支所として使われていた（昭和37年）

約十五年前の平成四年十一月、横川ダム建設に伴って水没することとなった市野々や下叶水集落のかたなどを中心に、現地で離村式が行われました。

昨年十一月の試験湛水を経て、本年三月に完成を迎える横川ダム。建設には、先祖伝来の土地をダム建設用地として提供してくださった、地元のかたの協力が不可欠でした。今月は、移転されたかたなどに、当時の記憶や故郷の思い出、生活再建の歩みなどを伺いました。

離村の決意と

新天地での十五年

羽越水害を契機に建設されることとなった横川ダムは、治水事業としては、町で最も大きな国家プロジェクトでした。調査段階で、地質や地形など、さまざまな検討が行われた結果、箱口地区上流の川筋を、そのままコンクリート

でせき止める方法がとられました。市野々と下叶水、上叶水の一部はダムに水没することとなり、この地区に住んでいた約三十世帯の住民は移転を余儀なくされました。

昭和六十二年一月、市野々と下叶水の三十世帯によって、

横川ダム対策協議会が設立されました。国との話し合いの場として設立されたこの会は、移転が必要なかたがたの補償対策などを担うものでした。

国と町、そして対策協議会を中心とした住民たちと協議が重ねられ、平成三年十二月、国と水没地権者との補償協定が結ばれました。

個別の補償契約が終わると、市野々と下叶水、上叶水の一部のかたがたは、長年住み慣れた土地を離れ、当時造成していた東原団地などに生活の拠点を移すこととなりました。

離村の決意と新天地での十五年について、移転関係者のかたがたは、次のように話してくれました。

平成4年11月に行われた移転者による離村式



造るならば
地域のためになるダムを



横川ダム対策協議会会長
渡部錬太郎さん（東原）
【平成5年に下叶水から移転】

二つの集落が水没することになり、当初は賛否両論でした。ふるさとが沈んでしまうのは残念ですが、一方で、荒川水系におけるダムの必要性は、羽越水害の教訓から、多くのかたが感じていたことでした。

新しい環境への不安もありましたが、代々受け継いできた土地を手放すことへの抵抗感は、誰しも持つていました。私は、造らざるを得ないのであれば、町や流域全体にとってはもちろん、ぜひ地域のために良いものにして欲しいと訴え続けました。単に水をせき止めるだけではなく、上流に住むかたや、集団移転した私たちにとっても、安心でき、憩い、協力して良かったと思えるダムにしたかったからです。



下叶水の家並み。写真中央付近では、平成18年に下叶水遺跡の緊急発掘調査が行われた

建設の話聞いたとき、造るならば地域が一つになって対応したいと考えました。また、移転にあたって一番思いをめぐらせた事は、家族の幸せでした。隣の子も、我が子のように接してきた地域の絆がなくなるのではと、寂しさを感じたこともありました。

しかし、熊野神社や飛泉寺、公民館などが東原に整備され、地域のかたがたも一緒に引っ越したため、新しい地域で、また新しい絆をつくっていくのだと考えられるようになりました。

地域の連帯感を求めて



渡部義満さん（東原）
【平成5年に下叶水から移転】

加藤さんが所有していた市野々の写真（昭和40年代）中央に見えるのは飛泉寺跡と大イチョウ



ふるさとの

田畑に感謝して



高井朋次さん（東原）
【平成5年に市野々から移転】

私は、市野々で唯一の専業農家でした。計画を聞かされた時、地域の状況や将来を考えると、やむを得ない面は理解できました。しかし、先祖が営々と築き上げ、守ってきたふるさとが水没するとすれば、やはり最初からもう手を挙げて賛成とはいきませんでした。横川ダム対策協議会の初代会長を任された私は、感情的になりやすい話だからこそ冷静に、本音の議論を進めるよう努めました。し

かし一方で、上流域に残るかたがたを考えると、このままで良いのかと、葛藤もありました。生活再建は、年配のかたは少々不安を感じていましたが、勤務先などの事情もあり、若い世代ほどスムーズに移行したと感じます。試験湛水の直前、私は、これまで生活を支えてくれた田や畑への感謝と、自分の気持ちに整理をつけるため、市野々に草木塔を建てました。

私の家では、主に父が農地を管理していました。父は、七月に亡くなったため、満水に水を貯めたダムを見せることができなかつたのが心残りです。最も辛かつたのは、地域のみならず離れることでした。子どもたちにも、幼い頃の思い出があり、帰省するたびに、ふるさとを訪れています。私たちは、ふるさとのつながりを大切にし、歴史を後世に伝えるため、今回移

転したかただけでなく、以前住んでいたかたにも呼びかけ、十七年、市野々ふるさと会（高橋郁造会長）を結成しました。昨年九月には、大イチョウの脇に子易地蔵を建立しています。しかし私は、単に市野々の元住民としてだけではなく、むらづくり天皇杯をいただいた東部地区振興協議会の一地区としても、今後のダムの活用や、上流地域の発展を気にとめ、見守っていこうと思います。

ふるさとの歴史を語り継ぐ



加藤正明さん（兵庫館）
【平成5年に市野々から移転】



高井さんが建立した草木塔。生活を支えてくれた自然への感謝が込められ山川草木悉皆成佛と記されている

満水となったダム湖。中央は叶水大橋



町では、平成元年七月、当時の羽越工務所と合同で、移転や就職などの支援を行うため、市野々公民館に「生活再建相談所」を開設しました。

また、移転作業が一段落した平成八年九月、横川ダム工務所では、グラウンドデザイン検討委員会を設け、ダム本体や周辺環境の一体的な整備の検討を進め

移転から十五年を迎え

私は、昭和六十二年から平成六年まで、横川ダム対策室の担当として、地域に出向いて説明会などを行っていました。当初は、本当に話がまとまるのか不安な毎日を過ごしていたことを覚えています。

ダム事業は、用地交渉が一番時間のかかる作業です。平成三年十二月に、国と地権者との補償協定が締結され、その後、個別交渉に移りました。個別交渉では、家族や地域に対する思いが

てきました。これは、当時、全国初の取り組みとして注目されました。

さまざまな国の支援もありましたが、移転や生活再建、周辺整備には、何よりも地域のみなさんの理解と協力が大きな役割を果たしてきています。

満水のダムに願う 安心・安全な生活

十一月二十五日、横川ダムは、試験湛水によって最高水位（二六三・三m）に達しました。水面は、叶水大橋の上流まで広がり、かつての市野々や下叶水の景色は一変しました。

本町において、もっとも大きな治水事業として取り組まれた横川ダムは、この春、完成を迎えます。町では、協力いただいた地域のみなさんに感謝し、地域の活性化を図りながら、今後も、安全で安心な生活を送ることができると環境づくりを努めてまいります。

気持ちは地域の一員



横山昇一さん（飯豊町）
【元小国町役場横川ダム対策室】

痛いほど伝わり、辛く感じたこともありました。住んでいた地域を離れるのですから無理ありません。それでも、昼も夜も関係なく、何度も足を運び、理解をいただいて、契約書にはんこを押してもらったときは、何物にもかえがたい喜びがありました。

孫を連れて水を貯えたダム湖を見たとき、これまでかかわってきた多くのかたの顔を思い出しながら、やっと安堵したところです。



宿場の面影が残る市野々の家並み（昭和34年）

12月定例会を開会

十二月十日から十四日までの五日間にわたり、十二月定例会が開会されました。一般会計補正予算や指定管理者の指定など、二十三議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

●一般会計に

四千二百二十万円を追加

平成十九年度一般会計に、四千二百二十万円を追加し、補正後の予算総額は、五十六億九千二百二十九万円となりました。

このほか、国民健康保険事業特別会計では、医療費の増加に伴い療養給付費を追加したほか、介護保険特別会計では、要支援認定者の増加に伴う介護予防に対する福祉用具購入費の増額などの補正を行いました。主な補正内容は次のとおりです。

プレミアム商品券の

発行を支援

町商工会が、年末年始商戦

に向けて、町内消費の拡大と地元商業の活性化を図るため、プレミアム付き買い物券を発行することから、町ではこれを支援することとしました。

小玉川小中学校の

利活用を検討

小玉川小中学校の閉校にあたり、実行委員会が主体となり、三月に記念式典が予定されていることから、この事業を支援するため交付金を措置しました。また、閉校後の校舎活用について検討を進めるため、調査費などを追加しました。このほか、小国小学校のトイレ修繕を行います。

工業用水道事業の

稼働準備に入る

工業用水道会計では、四月からの本格稼働をひかえ、現在、機械類の据え付け工事を進めています。安定供給に向けて、既存施設の修繕や試験運転が必要なことから、所要経費を追加しました。

●後期高齢者医療に関する条例を設定

七十五歳以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療制度が創設され、四月から実施されることとなります。このため町が行う事務について、新たに条例を設定し、保険料の徴収などについて定めました。

●指定管理者を指定

平成二十年三月で指定管理

期間が終了する町内十一の公共施設について、平成二十年以降も指定管理者制度による管理運営を行うため、それぞれ新たに指定管理者を指定しました。

十一施設のうち、梅花皮荘をはじめとする九施設については特定団体による候補者の選定を行い、健康の森横根と温水プールの二施設については一般公募を行ったうえで、各施設に対する指定管理者を選定しました。

施設名称	団体名及び代表者名
健康の森横根	おぐに白い森(株) 代表取締役 加藤 功
温水プール	
国民宿舎飯豊梅花皮荘及び小国町マタギの里交流センター	
川入荘	
小国町飯豊山荘	
小国町白い森交流センター	
オートキャンプ場	
小国町総合スポーツ公園	特定非営利活動法人会二 飯豊朝日を愛する健 理事長 高橋 健
横根スキー場	
小国町天狗平ロッジ	小国町商工会 会長 加藤 功
道の駅「白い森おぐに」	

※いずれの施設も指定期間は、平成20年度から平成22年度までの2カ年です。

新年を迎えて

小国町長 小野精一



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申しあげます。

昨年は、六月に本町の森林セラピー基地「ブナの森（温身平）」がグラントオープンを迎え、本町の魅力と誇りが全国に向けて情報発信されるとともに、豊かな地域資源の再確認と可能性を確信したところであります。

また、新しい斎場が完成したほか、町内五地区で住民の自主的組織による「農地・水・環境保全向上対策」

に取り組まれるなど、暮らしに係わる環境整備も進み、将来に向けた生活基盤がより充実しました。

迎えた新年は、次のステージに向けた新たなまちづくりの戦略・基本理念となる基本構想を取りまとめるとともに、行財政改革を一層推進し、地域の資源を再評価しながら、「自立を可能とする地域づくり」を基本に、町民の皆様から信頼される町政運営に努めてまいります。

特に、平成二年から建設が進められてきました横川ダム（湖名・白い森おぐに湖）が三月に完成しますので、このダム湖周辺一帯を新たな地域資源として捉え、新しい水辺の空間の創出に取り組んでまいります。

どうぞ、町民の皆様をはじめ、関係各位には、まちづくりにも更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげ、新年のあいさつといたします。



朝妻正吾さん（小国小坂町）

元小国町消防団分団長の朝妻さんは、昭和二十四年二月から昭和六十年六月までの三十六年間にわたり、町消防団員として火災現場や防災活動において活躍されました。また、ポンプ自動車や小型ポンプ積載車の導入配備に尽力されたほか、地域ぐるみの消防防災体制の構築に貢献されました。

瑞宝単光章を受章

伊藤庄九郎さん（玉川）

伊藤さんは、国土交通省の水理観測員として昭和四十七年から平成十五年まで三十二年にわたって、玉川下新田雨量観測所で観測にあたってこられました。水理観測は、川などの出水状況の把握に役立てられるものです。このたびの叙勲は、荒川水系の治水事業を支えてこられた伊藤さんの活躍が評価されたものです。



小池昭子さん(小国小坂町)

皇太子殿下と御接見

小池さんは、約四十年間にわたり、ボランティアとして小国警察署に生け花を飾ってこられました。十月二十九日には、社団法人日本善行会が主催する長寿善行者御接見に招かれ、東宮御所にて皇太子殿下と接見されました。

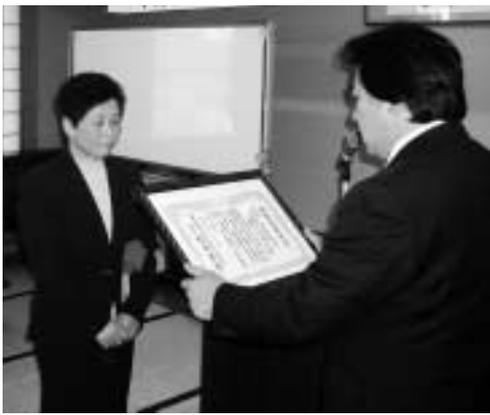
小池さんは、これまで二度善行賞を受賞されています。



「仲間の協力もあり続けることができた」と、受賞の記録を見せてくれた小池さん

母ちゃん市場が

西置賜農業賞を受賞



母ちゃん市場(小関清子代表)が、西置賜農業賞を受賞しました。これは、西置賜農業改良普及事業推進協議会(内谷重治会長)が、地区の農業団体の中から、農業の振興に功績のある団体を、毎年表彰しているものです。

母ちゃん市場は、平成十三年の発足以来、週二回の市場や直売を行っているほか、食農教育などの活動を通して、農業の活性化や振興発展に貢献しています。

民生委員・児童委員

委嘱状伝達式

困りごとの相談や、地域福祉の向上にむけた活動を行う民生委員・児童委員の委嘱状伝達式が、十二月六日、健康管理センターで行われました。今回は、再任となる三十二人に加え、新たに十一人が委嘱されました。委員は、厚生労働大臣が委嘱するもので、任期は三年です。



福田直樹ピアノコンサート

十二月四日、総合センターで、福田直樹ピアノコンサートが開催されました。会場には約百人の聴衆が集い、福田氏が奏でるチェンバロやピアノの演奏に聞き入りました。

このピアノコンサートは、財団法人松坂世紀記念財団と町教育委員会が主催しているもので、今回で十回目となります。



第十四回

地区対抗児童フットサル大会

十二月二日、町民体育館で第十四回地区対抗児童フットサル大会が開催されました。

大会には、十一地区から、十九チーム約百六十人の小学生が参加しました。コーチや父兄の声援を受けた選手たちは、コートいっぱいにかき回り、寒さを吹き飛ばす熱戦が繰り広げられました。

予選リーグを勝ち抜いたチームによる、決勝トーナメントの結果、町岩東地区が優勝しました。



防犯ポスター・防犯標語

入選者を表彰

十二月十三日、町防犯協会（小野精一会長）による防犯作品コンクールの表彰式が役場で行われました。寄せられた十八点のポスターと、四百六十二点の標語から、それぞれの上位入選作品九点を選ばれ、町防犯協会と県防犯協会連合会から、賞状や盾が贈られました。

入選した小・中学生九人は、表彰式のあと、防犯に対する日ごろの心構えなどについて、町長と懇談しました。

だがしや楽校を開校

白い森子ども体験教室「だがしや楽校」が、十二月八日、総合センターで開催されました。これは、地域のかたに協力をいただき、子どもたちが昔の遊びや工作などを、おまつりの屋台形式で体験するものです。今回は六つの屋台が設けられ、参加した二十八人は、タマネギの皮でハンカチを染めたり、牛乳パックの竹トンボ作りに挑戦しました。



両親学級で親の心構えを

町では、出産を予定している夫婦を対象に両親学級を開催しています。出産までに合計三回の指導を受け、出産の知識や乳児との接し方、産後のメンタルヘルスなどを学びます。

十二月五日に行われた両親学級では、二、三月に出産を控えた六組十一人が、乳児の成長過程を学び、着替えの実習などを体験しました。

募 集

アルペンスキー教室

■日 時 (計5回開催)

▼1月26日(土)～3月1日(土)の毎週土曜日(2月23日は休み)

▼午前9時30分～11時30分

■場 所 横根スキー場

■対象者 小学生(低学年30名、高学年10名を超えた場合抽選)

※小学1年生の参加は、保護者同伴となります。

■参加費 無料ですが、保険料(五百円)を負担していただきます。

■申込方法 町民体育館にある申込書を提出してください。

■申込期間 1月7日(月)～22日(火)

■申込・問合先 町民体育館

町営住宅入居者募集

■募集住宅

小坂町勤労者住宅2K 1戸

■募集期間 1月4日(金)～10日(木)

■対 象 町内で勤務されているかた

■入居時期 2月上旬

■家 賃 三万三千元

■敷 金 家賃の三カ月分

■申込・問合先 地域整備課へ

森づくり活動を募集します

県では、平成20年度みどり環境公募事業として、緑環境税を活用した県民参加の森づくり活動を募集しています。みなさんのアイデアをお寄せください。

■内 容

平成二十年度に実施する森に関する活動で、次のいずれかに該当するもの

①森林・自然環境学習

②自然環境の保全

③豊かな森づくり活動

■募集期限 1月28日(月)から2月22日(金)まで

■その他 応募方法や様式などについては、問い合わせの際に説明いたします。

■問合先 県みどり自然課 (☎023-630-2207) へ

米坂線で行こう！ おおいし・どもんこ祭り

米坂線整備促進期成同盟会では、「おおいし・どもんこ祭り」へのツアーを企画しています。「どもんこ」とは「かまくら」のことです。積雪状況により内容が変更となる場合があります。

■日 時 2月9日(土)

■行 程 小国駅11時55分発～越後下関駅12時20分着～昼食(相馬鮮魚店)～祭り会場(大石ダム)にバスで移動～バスで乗車駅まで送迎(町内のかたは小国駅から乗車となります。)

■内 容 かまくら遊びやスノーモービルによるゴムボート遊びなどが体験できます。

■参加費 千円(参加費、昼食・保険代込み。行きの鉄道代は別途自己負担となります。)

■定 員 40人(先着順)

■申込方法 電話で申し込んでください。

■申込期限 2月1日(金)

■申込・問合先 総務企画課へ

■住宅・土地統計調査の
キャッチコピー

総務省では、本年10月1日に行う「平成20年住宅・土地統計調査」のキャッチコピーを募集します。

■応募方法 応募は1人1点とし、未発表で自作のものに限ります。

■募集期限 2月11日(月)

■応募・問合先 〒162-0056 東京都新宿区若松町十九の一

催 し

新春囲碁大会

■日 時 1月27日(日) 午前9時から

■場 所 老人福祉センター

■参加費 千五百円

■申込方法 電話で申し込んでください。

■申込期限 1月25日(金)

■申込・問合先 小国町社会福祉協議会 (☎62-2825) へ

■消防出初式

■日 時 1月6日(日) 午前9時30分～11時30分

■場 所 ふれあいの家、アスモ周辺

■内 容 安全祈願祭、防火パレード、一斉放水

■その他 当日は、会場周辺などで交通規制が行われます。また、アスモ駐車場では一斉放水が行われる予定ですので、ご注意ください。

■問合先 町民課へ

総務省統計局国勢統計課 (☎03-5273-1155) へ

ご案内

町農業委員会委員選挙人名簿の登録申請を受け付けます

町農業委員会委員選挙人名簿の登録申請を受け付けます。次の要件を満たすかたは、各地区の農業振興組合長または農業委員会事務局へ登録申請書を提出してください。なお、新たに申請するかたは、農業委員会事務局へ問い合わせてください。

要件 次の①または②に該当するかたで、平成20年3月31日において満20歳以上のかた
①平成20年1月1日現在、小国町に住所のあるかたで10a以上の農地を耕作しているかた

相談

年金相談

日時 1月23日(水)
受付時間 9:30~14:30
場所 役場町民相談室
対応者 社会保険事務所職員
問合せ先 町民課へ

人権相談

日時 1月18日(金)
受付時間 10:00~12:00
場所 総合センター
対応者 人権擁護委員
問合せ先 町民課へ

総合労働相談コーナー

受付時間 平日8:30~17:15
内容 労働者と事業主間のトラブルなど
相談・問合せ先 米沢労働基準監督署(☎0238-23-7120)へ

②前項に該当するかたの同居の親族またはその配偶者で、年間の耕作日数が60日以上のかた
申請期限 1月10日(木)
問合せ先 農業委員会事務局
(産業振興課内)

ごみ処理手数料を改定

置賜広域行政事務組合では、ごみ処理経費の増加に伴い、処理手数料の見直しを行いました。このため、4月以降、小国リレーセンター、千代田クリーンセンター、長井クリーンセンターに直接ごみを持ち込んだ場合の処理手数料が、次のとおりとなります。ご理解とご協力をお願いします。
ごみ処理手数料(4月1日から)
10キログラムあたり百五十円

(10キログラム未満の場合は、10キログラムと計算します。)
※3月31日までは現行どおり百円
問合せ先 町民課へ

小国町指名競争入札 参加申請を受け付けます

町が行う建設工事、測量、物品購入などの指名競争入札参加を希望するかたは、次のとおり申請してください。

受付期間 2月1日(金)~2月29日(金)

受付時間 午前9時~12時
午後1時~4時

有効期間 平成20年度

その他 今回の受付は、町内業者のみです。必要書類などについては、電話または町のホームページで確認してください。
問合せ先 地域整備課へ

児童手当を受給されているかたへ

2月8日(金)に、2月期分(19年10月~20年1月)の児童手当を振り込みます。振込通知書は郵送しません。児童手当は、申請に基づき申請の次月から支給されます。次に該当するかたで、まだ申請していないかたは、申請手続きを

行ってください。

●平成7年4月2日以降生まれで小学校修了前児童を養育しているかた

●出生・転入などによって手続きをしていないかた

●すでに受給しているかたで、新たにお子さんが生まれ、額改定請求をしていないかた

●所得超過によって受給資格を喪失したあと、所得や扶養家族の変動があったかた

●口座変更などがある場合、事前に変更申請がされていないと、手当の支給ができません。特別な事情が無い限り指定振込口座の解約はなさないようお願いいたします。変更がある場合は、印鑑及び通帳を持参し、1月10日(木)まで手続きしてください。

申請・問合せ先 健康福祉課へ

1月10日(木)110番の日

▼すばやい通報が犯人の検挙につながります。事件や事故を見たり聞いたりした場合は、すぐに110番をしてください。

▼110番は緊急電話です。相談や照会は、110番でなく最寄りの警察署におかけください。

■小国警察署 ☎62-0110へ

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◇求めない 加島 祥造
- ◇つくもがみ貸します 畠中 恵
- ◇使ってみたい武士の日本語 野火 迅
- ◇ホームレス中学生 田中 裕
- ◇東京・地震・たんぽぽ 豊島 ミホ
- ◇いっぺんさん 朱川 湊人
- ◇シリーズ藩物語 山形藩 横山 昭男
- ◇おひとりさまの老後 上野千鶴子
- ◇烏金 西條 奈加
- ◇老子入門 楠山 春樹
- ◇うさぎパン 瀧羽 麻子

※ほか多数入荷しました。

今月の休館日：

1月1日～1月3日(年始休み)
毎週月曜日

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程

1月15日、22日子育て講座「身体計測と相談」、29日、2月5日

■時間

午前10時～11時30分

■場所

健康管理センター

■対象者

0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆ななかよし広場☆

■日程と場所

1月17日 総合センター

1月10日、24日 おぐに保育園
■時間 午前10時～11時30分
■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時

2月16日(土)

■場所

健康管理センター

■内容

きび団子作り、人形劇

■申込期限

2月14日(木)

■対象者

お子さんとお家のかた

■問合先

子育て支援センターへ

求人情報

左の表は12月17日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

山形県における 最低賃金 620円

山形県最低賃金が、10月25日より1時間620円に改正されました。この賃金は、県内で働くすべての労働者に適用されます。

また特定の産業については、これとは別に、産業別最低賃金が設定されています。

■問合先 山形労働局(☎023-624-8224)へ

事業所名	職種	求人数	年齢	就業時間
医療法人社団緑愛会 介護老人保健施設かやきの丘	看護師・准看護師	3人	59歳以下	8:30～17:30ほか
	グループホーム介護員	2人	不問	7:00～16:00ほか
	調理師	2人	不問	9:00～15:45
(有)村上警備保障	交通誘導警備員	5人	18～	8:00～17:00
DoCoDeMoグループ(有)	警備業務	10人	不問	8:00～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	生命保険営業	5人	不問	9:10～16:50
(有)コンスキャン二第一ホール小国店	ホールスタッフ	1人	不問	8:00～17:30ほか
	ホールスタッフ	1人	不問	8:00～22:30間7時間
大河内産業(有)	一般事務員	1人	不問	8:00～17:00
	タンブ・重機運転士	3人	不問	8:00～17:00
	砂利プラント運転士	3人	不問	8:00～17:00
(株)斉藤建設	一般作業員	3人	不問	8:00～17:00
	土木施工管理技士	2人	不問	8:00～17:00
安部工業(株)	型枠大工	1人	不問	8:00～17:00
	重機オペレーター	1人	不問	8:00～17:00
(株)船山工務店	一般作業員	1人	不問	8:00～17:00
	土木施工管理技士	2人	不問	8:00～17:00
(株)井上製作所	マシンオペレーター	6人	不問	8:30～16:45ほか
(有)小国測量設計事務所	測量助手	2人	不問	8:00～17:00
(株)ケープロダクツ	自動車販売・整備	1人	不問	9:00～18:00
電興(株)	薬剤師	1人	不問	8:50～17:30
小国町森林組合	運転業務	1人	不問	7:30～17:00
アベプランニング	サービス・役務	1人	不問	8:00～17:00
味処藤よし	調理師及び見習い	1人	不問	8:30～22:00
	ホール、接客	1人	不問	17:00～22:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	特別営業職	10人	不問	9:15～17:00
特別養護老人ホームさいわい荘	介護員	5人	不問	9:15～18:15ほか
社会福祉法人小国町社会福祉協議会	ホームヘルパー	1人	不問	8:30～17:15
	ホームヘルパー	3人	不問	8:30～17:15間4時間以上
(株)シーテック山形営業所	電気制御設計	1人	不問	9:00～18:00
	生産装置の設計	1人	不問	9:00～18:00
(株)ジャンクリエイトスタッフ山形営業所	半導体製造装置製造	5人	不問	8:30～16:40ほか
(株)スタッフサービス	生産技術	1人	不問	8:30～17:00
(有)白い森よこね物産直売所	販売	3人	不問	9:00～18:00間5時間
(株)サンエー(マルタ小国店)	販売員	1人	不問	10:00～19:00間4時間以上
(有)新設・河原角農畜産物加工施設	農産物加工	1人	不問	8:00～17:00
酒味庵まっばら	接客	1人	不問	17:00～21:00ほか
(株)ナウエール	設備業務及び運転手	1人	不問	8:30～17:30



保健カレンダー

■問合先 健康福祉課へ

月日	乳幼児健診	受付時間	対象	場所
2/22	4カ月児健康診査	13:00~13:15	19年10月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
	1歳児健康診査		19年2月生まれ	
2/27	2歳児歯科健康診査	13:00~13:15	17年6月~8月生まれ	

～社会保険庁から～

「ねんきん特別便」で 加入記録のご確認を

社会保険庁では、現在把握している年金加入記録を加入者のみなさんにお知らせするため、加入者すべてに「ねんきん特別便」を送付します。

①ねんきん特別便はいつ届くの

平成19年12月から平成20年3月をめぐり、現在の年金受給者で基礎年金番号が照合できていないかた（結びついていない基礎年金番号に該当する可能性のあるかた）を対象に送付します。その後、4月から10月をめぐり、すべての加入者に送付します。

②記録が違っていたら

ねんきん特別便には、「確認はがき」と「年金加入記録照合票」を同封しています。加入記録にもれが無い場合には、同封している「確認はがき」を返信してください。記録に訂正がある場合には、「年金加入記録照合票」を提出していただく必要があります。

③結婚などで名前が変わったかたへ

お手持ちの古い年金手帳をご確認ください。加入時と名前が変わった場合は、氏名変更が必要です。

④年金加入後に住所変更されたかたへ

住所変更の届出がされていない場合、「ねんきん特別便」をお届けできません。変更には、ご自身による手続きが必要です。該当する場合には、それぞれ下記の場所で、早急に手続きを行ってください。

- 国民年金第1号被保険者→役場町民課
- 厚生年金加入者 →勤務先など
- 国民年金第3号被保険者→勤務先など
- 年金受給者 →米沢社会保険事務所

■問合先 町民課または米沢社会保険事務所
(☎0238-22-4220) へ

平成20年度から 健診が新しくなります

これまで町で実施してきた「基本健康診査」は、生活習慣病予防の徹底のため、メタボリックシンドロームに着目した健診である「特定健康診査」に変わります。また健診の結果、生活習慣病のおそれがあるかたを対象に「特定保健指導」を行うこととなります。

- ①健診を行うのは、加入している医療保険（国保・健康保険組合など）に変わります。
- ②対象者は、40歳～74歳のすべてのかたです。（職場で健診を受けた場合は、特定健診を受診したと見なされます）
- ③検査項目は、これまでの内容に加えて、腹囲、LDLコレステロール（悪玉コレステロール）が追加されます。
- ④健診を受けるには、各医療保険者からの案内通知にしたがって、受診してください。

●75歳以上のかたは●

山形県後期高齢者医療広域連合が健診を行います。生活習慣病の早期発見を目的とした健診のため、すでに生活習慣病の治療を行っているかたは、対象外となります。

●特定保健指導とは●

生活習慣の改善を目的に保健師などの専門家が、一人ひとりに合った支援を行うものです。

健診結果により、メタボリックシンドロームの予備群と該当者に階層分けが行われ、それぞれに情報提供、動機づけ支援、積極的支援が行われます。

●そのほかの健診は●

がん検診などは、今までどおり町が実施します。

■問合先 町民課・保健福祉課へ

あったか灯油券を交付します

原油価格の高騰に伴い、灯油やガソリン、軽油などの石油製品の値上がりが続いており、国民生活はもとより、産業活動への影響も懸念されています。このため政府は、緊急対策の基本方針を打ち出し、寒冷地の灯油代の一部助成も対策の一つになりました。そこで町では、さる12月19日に「原油価格高騰に伴う対策調整会議」（座長；副町長）を設置し、対応策をとりまとめ、25日に開催された臨時議会で『あったか灯油券』の交付事業を行うこととしました。

■対象者 平成19年12月1日現在において住民基本台帳に登録され、現年度の町民税が非課税となっており、さらに福祉施設入所世帯を除く下記の世帯

- ①高齢者世帯（満65歳以上のひとり暮らし世帯及び高齢者世帯）
- ②母子・父子家庭の世帯
- ③障害者世帯（身体障害者手帳1級・2級のかたが構成員の世帯、療育手帳Aのかたが構成員の世帯、精神障害者保健福祉手帳1級のかたが構成員の世帯）
- ④生活保護法による保護受給世帯
- ⑤在宅系施設利用者（風ぐるま、しゃくなげ寮、ひまわり寮の利用者）

■助成額 6,000円（1枚1,000円の灯油券6枚綴り；使用期限3月20日まで）

■申請方法 上記の世帯等が交付対象となりますが、原則として申請が必要となりますので、健康福祉課まで問い合わせてください。（代理のかたでも手続きできます。手続きの際、身分を確認させていただきますので、代理のかたの印鑑と本人証明できる免許証等をご持参ください。）

■受付期間 1月4日（金）～21日（月）

※詳しくは、健康福祉課（☎61-1000）へ

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

緑町	伊藤	乃	（広）	明子
増岡	下川原	優	（昌）	義紀
兵庫	佐藤	樹	（正）	美樹
小国	山崎	久	（和）	悠子
小国	杉山	宏	（と）	悠子
小国	伊藤	実	（智）	典理

結婚おめでとございます。

（緑町）	長岡	博之
（小国小坂町）	吉岡	亜淳
（幸中）	丹	燕
（宮の）	謝三島	和広
（韓井）	朴	銀主
（岩中）	渡部	清美
	賈	俊英

おくやみ申し上げます。

小国小坂町	田中	あき	(90)
小あけぼの	長佐	江ゲ	(88)
小沼舟	小和	次雄	(87)
岩井	今藤	宣晴	(82)
幸石	加今	晴國	(87)
田沢	伊今	仲フ	(60)
石叶	今岡	たま	(83)
兵舟	五加	せき	(87)
庫庫	高	きフ	(91)
小国小坂町		秀子	(86)
		イツ	(90)
		男子	(84)
		子	(73)
			(74)

人口のうごき

人口	男	… 4,618人 (-8)
	女	… 4,863人 (-16)
	計	… 9,481人 (-24)
世帯数		3,263世帯 (-6)
		平成19年11月30日

編集後記

あけましておめでとうございます。今月号では、ダム建設に伴い移転されたかたに話を伺いました。改めて歴史が語るふるさとを、のたたずまいの奥行きを、実感しました。今年の子年。目に見える事実だけでなく、その背景にも、注意していこうと思います。本年もたくさんの方の情報をお待ちしています。（片桐）

先月号の年末年始の医療機関の休診日について、「今医院29日」は「今医院29日午後」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。